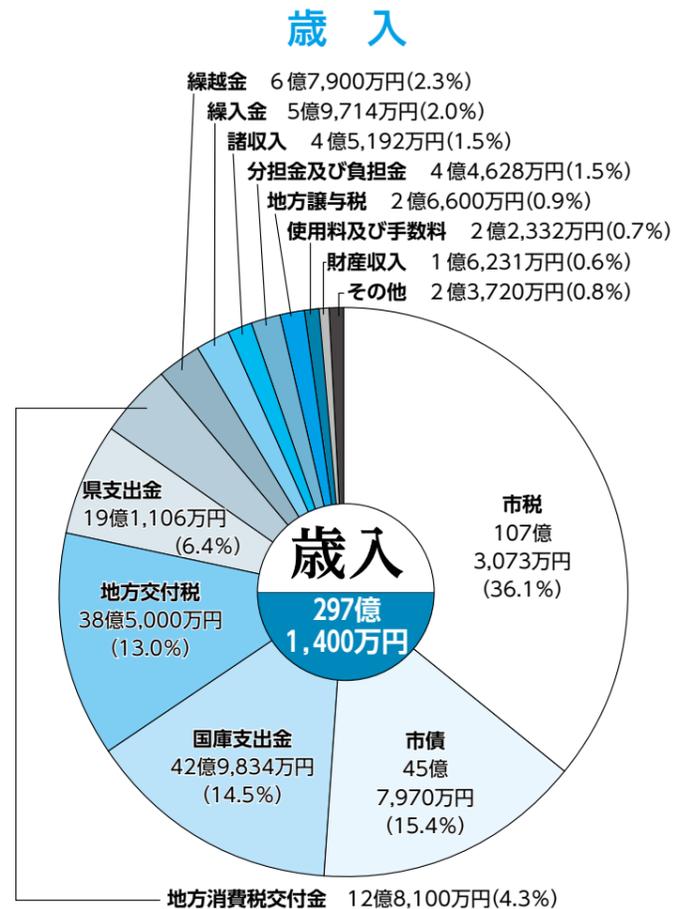
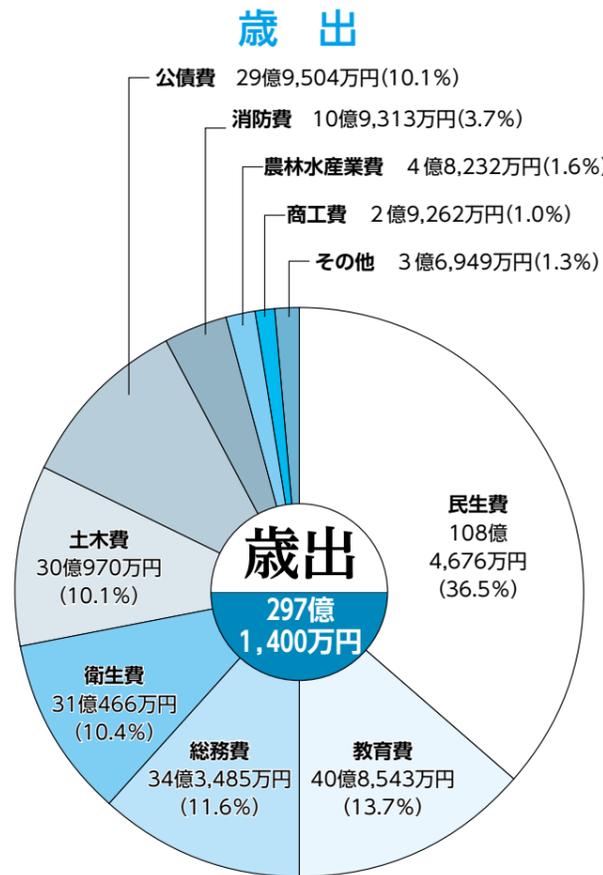


# 一般会計予算の構成



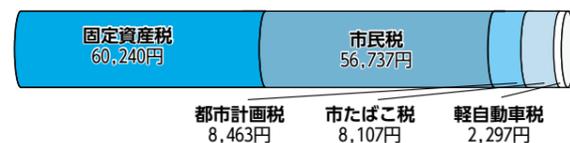
## 平成27年度3月補正予算紹介

国補正予算を活用した、地方創生の加速化、人口減少や社会保障、ICT化に伴う情報セキュリティ等、喫緊の課題に対応する事業として、平成28年度に繰り越して実施するものです。

- 上武絹の道運営協議会への参加 356万円
- 絹産業資料等の調査 300万円
- 時刻表等の設置 200万円
- 観光関連ホームページ改修への補助 300万円
- 観光案内板の設置 300万円
- 幼児教育無償化のためのシステム改修 22万円
- 年金生活者等への臨時的な給付金 2億4,076万円
- 情報セキュリティの強化 2,500万円

## 市民1人当たりが負担する市税※

総額 135,844円



## 市民1人当たりに使われるお金※

総額 376,160円



※平成28年1月1日現在の人口(78,993人)をもとに計算

# 平成28年度 予 算



総額

523億1,395万円  
(前年度比1億9,484万円減)

一般会計 297億1,400万円  
特別会計 169億2,723万円  
企業会計 56億7,272万円

平成28年度の各会計予算が、市議会第1回定例会で可決されました。  
新年度予算の概要と、市が取り組む主要事業を紹介します。

★財政課 ☎1163

区分	予算額	増減率
一般会計	297億1,400万円	△0.1%
特別会計	169億2,723万円	
国民健康保険特別会計	98億5,855万円	△3.6%
住宅資金貸付事業特別会計	435万円	△9.6%
児玉南土地地区画整理事業特別会計	1億1,998万円	△38.3%
農業集落排水事業特別会計	6億7,015万円	11.8%
介護保険特別会計	55億786万円	2.2%
後期高齢者医療特別会計	7億6,634万円	7.9%
企業会計	56億7,272万円	
水道事業会計	26億5,531万円	4.6%
下水道事業会計	30億1,741万円	△2.7%
合計	523億1,395万円	△0.4%

※水道事業会計、下水道事業会計は、収益的支出及び資本的支出で集計

## 施政方針

本年、本市は1月10日に旧本庄市と旧児玉町が合併し、新たなステージへ踏み出しました。これまで、皆さまと共にたくさん課題に向き合い、一歩一歩まちづくりを進めていくことができました。平成28年度につきましても、子や孫のために胸を張ってバトンを手渡せるよう、皆さまと共に持続可能な地域社会を創造してまいりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

## 行政経営に関する基本的な考え方

全国的な少子高齢化や人口減少の進行、多発する自然災害など、現代社会は常に困難な課題が突きつけられています。特に急速に進む人口減少問題は、わが国にとって、そして本市にとっても最大かつ喫緊の課題となっております。私は、このような人口減少を是とせず、あらゆる事態を想定し、どのような変化があってもしっかりと対応できるように「備える」施策を展開することで、地方創生を力強く進めてまいります。平成28年度は、「人も地域も元気で健康な都市 本庄」を目標に、「人を呼び込む健全なまちづくり」の実現を目指し、「人口減少への対応」、「地域経済の活性化」、「地域の特性を活かしたまちづくり」を重点的・優先的な施策として取り組んでいきます。

## 予算編成の基本的な考え方

わが国の経済は、政府による景気対策等により緩やかな景気回復基調が続いているものの、地域間での個人消費の回復のばらつきや生産活動の弱さが見られ、地方によっては、厳しい経済環境にある状況です。本市の財政状況ですが、歳入の根幹をなす市税においては、法人市民税の税率改正等による減収などにより伸び悩みの状況にあります。また、将来人口の減少傾向や、社会保障費の増加、公共施設の維持・更新に対応するなど、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めることが重要な課題となっております。

このような状況を踏まえ、平成28年度の予算編成は、既存事業の見直しや新たな発想による事業の創出を行うことで、安定した雇用の創出、交流・定住人口の増加、若い世代の結婚・出産・子育ての支援、地域連携の促進などを積極的に進め、本市の将来像「あなたが活かす、みんなが育む、安全と安心のまち 本庄」世のため、後のため」の実現を目指すものとしました。

本庄市長 吉田信解